



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 ステラケミファ株式会社  
コード番号 4109 URL <https://www.stella-chemifa.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 亜希

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中島 康彦

TEL 06-4707-1512

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,764	9.8	1,291	0.0	1,783	39.1	1,295	61.4
2022年3月期第1四半期	8,896	8.2	1,291	46.1	1,282	52.3	802	67.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,738百万円 (73.0%) 2022年3月期第1四半期 1,005百万円 (330.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	103.55	
2022年3月期第1四半期	62.66	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	56,495	44,011	76.9	3,471.87
2022年3月期	56,598	42,728	74.5	3,369.93

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 43,446百万円 2022年3月期 42,170百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		24.00		36.00	60.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	0.5	4,600	0.4	5,800	1.6	4,200	21.7	335.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	13,213,248 株	2022年3月期	13,213,248 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	699,291 株	2022年3月期	699,457 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	12,513,797 株	2022年3月期1Q	12,813,519 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きがみられたものの、ロシア・ウクライナ情勢の悪化および急速に進行した円安等による影響から、依然として先行き不透明な状況となっています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第1四半期連結累計期間の業績におきましては、半導体部門について、世界的に旺盛な半導体需要により国内・海外向けともに販売が増加し、売上高は97億64百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

利益面におきましては、半導体部門の出荷量が増加したものの、主要原材料の無水フッ酸価格が中国市場の需給等の影響により前年同期に比べ上昇したことにより、営業利益は12億91百万円（同0.0%減）となりました。一方で、持分法適用関連会社である衢州北斗星化学新材料有限公司が販売しているリチウムイオン二次電池用電解質について、中国国内の市場価格高騰にともない販売価格が上昇したことにより同社の経営成績が好調に推移し、持分法による投資利益を計上した結果、経常利益は17億83百万円（同39.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億95百万円（同61.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11億30百万円（3.7%）減少し、294億50百万円となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が5億37百万円、商品及び製品が3億81百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10億28百万円（4.0%）増加し、270億45百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が6億5百万円、投資その他の資産が4億51百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は564億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少しました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11億48百万円（11.7%）減少し、86億55百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が9億21百万円、未払金が2億8百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億36百万円（5.8%）減少し、38億29百万円となりました。主な要因は、長期借入金金が2億96百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は124億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億85百万円減少しました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は440億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億82百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が8億40百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は76.9%（前連結会計年度末は74.5%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月10日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,895	16,190
受取手形及び売掛金	8,577	8,292
電子記録債権	65	81
商品及び製品	2,175	1,793
仕掛品	1,510	1,411
原材料及び貯蔵品	1,584	1,046
その他	789	652
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	30,581	29,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,535	6,442
機械装置及び運搬具（純額）	4,772	4,689
土地	5,467	5,467
リース資産	132	130
建設仮勘定	3,147	4,000
その他（純額）	1,611	1,542
有形固定資産合計	21,667	22,273
無形固定資産		
その他	375	347
無形固定資産合計	375	347
投資その他の資産		
その他	3,973	4,425
投資その他の資産合計	3,973	4,425
固定資産合計	26,016	27,045
資産合計	56,598	56,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,743	1,986
電子記録債務	876	790
短期借入金	1,920	1,950
1年内返済予定の長期借入金	1,494	1,388
未払法人税等	1,370	449
賞与引当金	379	185
役員賞与引当金	55	4
設備関係電子記録債務	401	370
その他	1,563	1,529
流動負債合計	9,804	8,655
固定負債		
長期借入金	2,003	1,706
退職給付に係る負債	956	963
役員退職慰労引当金	31	32
株式給付引当金	99	106
資産除去債務	645	658
その他	329	361
固定負債合計	4,065	3,829
負債合計	13,869	12,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,829	4,829
資本剰余金	8,793	8,793
利益剰余金	29,450	30,290
自己株式	△1,642	△1,642
株主資本合計	41,430	42,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50	46
繰延ヘッジ損益	46	17
為替換算調整勘定	643	1,111
その他の包括利益累計額合計	739	1,175
新株予約権	49	48
非支配株主持分	508	515
純資産合計	42,728	44,011
負債純資産合計	56,598	56,495

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	8,896	9,764
売上原価	6,599	7,601
売上総利益	2,297	2,163
販売費及び一般管理費	1,005	871
営業利益	1,291	1,291
営業外収益		
デリバティブ評価益	5	—
持分法による投資利益	—	375
補助金収入	30	21
為替差益	11	83
その他	19	22
営業外収益合計	67	503
営業外費用		
支払利息	8	5
持分法による投資損失	26	—
デリバティブ評価損	—	3
株式交付費	37	—
その他	5	3
営業外費用合計	77	11
経常利益	1,282	1,783
特別利益		
固定資産売却益	2	4
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産廃棄損	32	1
特別損失合計	32	1
税金等調整前四半期純利益	1,252	1,786
法人税等	553	517
四半期純利益	699	1,269
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△103	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	802	1,295

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	699	1,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△3
繰延ヘッジ損益	0	△28
為替換算調整勘定	281	365
持分法適用会社に対する持分相当額	21	136
その他の包括利益合計	305	469
四半期包括利益	1,005	1,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,082	1,731
非支配株主に係る四半期包括利益	△76	7



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,708	1,141	7	8,858	38	8,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125	723	—	848	53	901
計	7,833	1,864	7	9,706	91	9,798
セグメント利益又は損失(△)	1,401	193	△182	1,412	2	1,414

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,412
「その他」の区分の利益	2
セグメント間取引消去	△123
四半期連結損益計算書の営業利益	1,291

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,577	1,146	9,724	40	9,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	750	750	58	808
計	8,577	1,897	10,474	98	10,573
セグメント利益	1,135	154	1,290	3	1,293

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,290
「その他」の区分の利益	3
セグメント間取引消去	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	1,291

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、ステラファーマ株式会社の株式の一部を売却し、同社を連結子会社から持分法適用関連会社へ変更しています。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より「メディカル」を報告セグメントから除外しています。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、2022年7月20日開催の取締役会において、保有する投資有価証券（非上場有価証券1銘柄）を売却することを決議し、2022年7月29日に売却いたしました。

当該売却により、2023年3月期第2四半期連結会計期間において、投資有価証券売却益1,237百万円を特別利益として計上する予定です。